

総務常任委員会

委員長 廣本 昌久

◆高島市税条例の一部を改正する条例案
ほか4議案と請願1件の審査

今期定例会におきまして、当委員会が付託を受けた条例案件5件と請願1件の審査を行うため、3月4日に総務常任委員会を開催し、審査を行いました。

条例案件は、①高島市税条例の一部を改正する条例案 ②高島市地域福祉基金条例を廃止する条例案 ③高島市病院建設準備基金条例を廃止する条例案 ④高島市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案 ⑤高島市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案の計5件でありました。

主な内容については、税条例の一部改正は、地方税法の改正に伴う、賦課決定に係る不利益処分等に関する処分理由を示

れ改正・廃止する条例の内容等について審査をした結果、これら付託の5議案はいずれも全員賛成で「可決すべきもの」と決定しました。

また、付託を受けた請願「米軍関係者による事件・事故における第1次裁判権放棄の「密約」の破棄および「日米地位協定」の見直しを日本政府に求めることについての請願」については、賛成少数で「不採択とすべきもの」と決定しました。



産業建設常任委員会

委員長 宮内 英明

◆付託された4議案を審査

今期定例会において当委員会が付託を受けた議決案件1件と条例案件3件の審査を行うため、3月6日に委員会を開催し、審査を行いました。

まず、議第3号「平成24年度高島市水道事業会計資本剰余金の処分について」は、国の地方分権改革により、地方公営企業法の一部改正が行われ、企業会計に係る資本剰余金の処分が議会の議決により可能となったことから議案提出されたものであり、減価償却の考

え方等の質疑を経て採決の結果、全員賛成で「可決すべきもの」と決定しました。

仰地区の農業集落排水処理施設を公共下水道に接続するための条例の一部改正であり、接続後の処理施設の活用等についての質疑を経て採決の結果、全員賛成で「可決すべきもの」と決定しました。

議第21号「高島市営住宅等の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案について」は、国の地方分権改革による公営住宅法の一部改正により、これまで国が一律に定めていた入居基準を地域の実情に合わせて、市の条例を定めるための改正であり、入居率等の



北仰地区 農業集落排水処理施設

高島新政クラブ



万木 豊 議員

政策集と所信表明について

人口減少と少子高齢化に伴う対策について

問 少子化対策の現状と今後の取り組みは。

答 市長 これまで未就学児の医療費無料化、保育料の軽減等に取り組まれました。今後は安心して子育てが出来るように、中学生までの医療費無料化等にも取り組むたいと考えます。

問 若者定住促進対策の現状と今後の取り組みは。

答 若者定住促進条例を制定し、様々な施策を展開してきました。今後は全庁挙げた取り組みが必要と考え、組織の設置に

向けて速やかに検討したいと考えます。

問 当市の人口は8年で3,600人ほど減少している。今後10年を見た場合、どのような対策が必要か。

答 安心して住み続け、働き続けられるよう、個々の対処療法的な施策でなく、総合的な施策の展開が必要と考えます。

サッカー場問題について

問 既に2.9haの用地取得がされているが、今後の維持管理や活用方法の考えは。

答 周辺農地に影響が出ないよう適正管理に努めます。今後の活用等につ

いては、各種意見を聞きながら、対応を検討します。

庁舎問題について

問 今津町今津の南浜地

先の新庁舎建設地予定地はUPZの範囲に近いので最適地では無いとの事ですが、最適地はどこか。

答 最適地の定義は難しいですが、後年度の財政負担を考えると、現庁舎の利活用が必要と考えます。

問 そもそもUPZ圏内に居住される皆様に大変

心無い発言と受け止めるが。

答 U P Z圏内にお住いの皆様の不安を少しでも解消し、事故発生時のリ

スクを減らす対応が必要との思いです。

問 マキノ地域の原発事故への不安解消が第一という点ですが具体策は。

答 立地自治体並みの地域防災計画を策定し周知を図り、不安解消に努めたいと考えます。

問 J R湖西線新旭駅エレベーターの実現の可能性は。

答 既にJ R西日本とも協議しており、今後も県や関係機関と連携して協議を重ね、実現に向け積極的に取り組むたいと考えます。

問 安曇川駅周辺と道の駅を結ぶルート・ゾーンの活性化を図るとのことですが、具体的な中身は。

答 早期に検討委員会を立ち上げ、具体的な計画を作り再開発に取り組むたいと考えます。



重要文化的景観選定を目指す乙女ヶ池

問 病院近くの乙女ヶ池の整備と、萩の浜の今後の整備方針は。

答 乙女ヶ池周辺地域について、国が定める重要な文化的景観の選定が受けられるよう諸準備を進めています。萩の浜については、環境整備を優先し、浜欠けなどの対応を県土木事務所と検討しています。

問 朽木地域の観光施策に力を注いでみては。

答 朽木地域の優れた自然環境や歴史・文化などの財産を活かしたまちづくりにつなげるような仕組みを検討します。

問 防災の観点からも特に国道161号・303号・367号の整備が急務だと思いませんか。

答 災害に強い道路ネットワーク整備に向け、国・県等関係機関に対し積極的に要望してまいります。

問 政策実現には、職員とトップの信頼関係が大事と述べられた反面、就任当日の人事異動は、前代未聞であると思われるがどうか。

答 陽光の里の病床数増加に対し執務体制の整備を急ぐ必要のための人事異動です。